

Ⅲ 森林病虫害等防除事業に関する調査

(実施期間:昭和 52 年度～ 予算区分:県単 担当:池本省吾)

1 目 的

県内で実施されている当該事業に関連して、防除(薬剤予防散布)適期を検討するための情報を提供することを目的とし、マツノマダラカミキリの脱出時期を調査する。

2 実施概要

(1)方法

令和 5 年 11～12 月に鳥取市浜坂で当年夏～秋に枯死したクロマツを伐採し、1.6m程度の丸太に玉切りして林業試験場構内(標高:30m、100m)と八頭町才代地内(標高:300m)の網室に搬入し(写真)、令和 6 年 5 月 16 日から 8 月 10 日まで丸太から羽化脱出したマツノマダラカミキリ成虫数を調査した。その脱出した成虫数から 5%、50%、95%脱出日を推定した。



写真 八頭町才代(標高 300m)の網室

(2)結果

令和 6 年度のマツノマダラカミキリの脱出推定時期を表に示す。脱出推定日は林業試験場 30m 地点の発生初期(5%脱出推定日)のみ2日早かったが、その他の時期及び場所では平年並みか1日～4日遅かった。

表 林業試験場構内と八頭町才代におけるマツノマダラカミキリの脱出推定日

羽化脱出状況	標高 30m	標高 100m	標高 300m
5%脱出日	5 月 31 日 (-2)	6 月 11 日 (+2)	6 月 9 日 (±0)
50%脱出日	6 月 21 日 (+1)	6 月 28 日 (±0)	6 月 28 日 (±0)
95%脱出日	7 月 13 日 (+4)	7 月 16 日 (+1)	7 月 17 日 (±0)

※()は平年値(2001～2023 年の平均値)との差。